



先端の肌科学を提唱するドクターケイから、初めてのクレンジングが登場！

日中の肌のダメージを“極上クレンジング”でリセット

美容液並みの美容成分を贅沢に配合
今のクレンジングには満足できない、クレンジングにこだわりを
持っているという方には、ぜひ使って欲しい！

リッチなクリームや高級な美容液を使っても、なかなか効果が実感できない。

そんな状況の原因は、「クレンジング」にあるかもしれません。

今の肌を変えたければ、クレンジングを見直すのが早道。

皮膚科医 亀山孝一郎は、皮膚科医の視点で配合成分から検討、

クレンジング剤の形状にもこだわりました。

ドクターケイの『ケイカクテルVクレンジングジェルクリーム』は

クレンジングに最適なカクテルビタミンクリーン*を処方し、

日中のダメージをリセット、その先にある肌トラブルの芽を摘み取ります。

落としながら与える...新しい発想の極上クレンジング製品です。

高機能クレンジングジェルクリーム

ケイカクテルVクレンジングジェルクリーム

2016年7月1日(金)新発売

200g ¥4,500(税抜)





クレンジング＝落とすだけ を超えた製品 使用するたびに肌が変わっていく！

『日中の肌ダメージをリセットして残さない』 正しいクレンジング選びが重要。

人々の肌トラブルを数多く解決してきた皮膚科医 亀山孝一郎がその臨床経験から得たのは、クレンジングに一番大切なのは洗浄力ではなく、「いかに1日の肌ダメージをリセットできるか」ということ。というのは、そのダメージは蓄積すると肌老化につながるからです。紫外線やストレス、PM2.5などの大気汚染物質…四方八方からダメージ要因に囲まれた肌を救い出さなくては！という使命の下クレンジング開発に着手しました。



『クレンジングにも高いスキンケア効果を』 ビタミンC中心のカクテルビタミンクリーン*や美容液成分を配合。

リセットした肌に最適な美容成分を浸透させるため、配合成分にも徹底的に拘り、この製品独自のカクテルビタミンクリーン*、アスタキサンチンなど美容液並みの美容成分を贅沢に配合しました。

【主な美容成分】

抗酸化	： ビタミンC誘導体、ビタミンA、アスタキサンチン、 グルコシルルチン(ビタミンP)
抗炎症	： デイリリー花発酵液
CE形成	： ビプリオアルギノリチクス培養液
ターンオーバー促進	： ビタミンB12、蓮種子発酵液
抗ポリリューション	： 加水分解アルギン(褐藻類の一種ラミナリアディギタータ由来の水溶性エキス。 たばこの煙や排気ガス、汚染物質等から肌や髪を守る)
皮脂抑制	： ビタミンB6誘導体
美 白	： ビタミンC誘導体、ビタミンA
角質柔軟・保湿	： ブドウ果汁発酵液



デイリリー



白蓮

* カクテルビタミンクリーン： ドクターケイ独自の製品目的に合わせたビタミンのブレンド。
カクテルビタミンクリーンは、肌ダメージのリセットに効果的な7種類のビタミンで構成されています。

『最高のクレンジング剤を』 ドクター亀山が辿り着いたのは、“ジェルクリーム”。

崩れにくいファンデーションやポイントメイクをも落とすクレンジングは、“肌に乗せている時間が短くて済み、摩擦の少ない負担が軽い処方”で、洗い流しが早い”ことが必須という結論に達しました。美容の達人が勧めるのは、肌摩擦の少ないジェルタイプやクリームタイプ。しかし、ジェルには洗浄力不足、クリームにはべたつきという一長一短があります。2つの良さを持ったクレンジングを作ること、が課題でした。そこで採用したのが「ジェルクリーム」。クレンジングをメイクと馴染ませる際に摩擦なくすぐに馴染み、洗い流しが早い。しかも、肌にやさしい植物系の洗浄剤にこだわり、クレンジングしながらうるおいを与える、ジェルとクリームのいいとこ取りのクレンジング剤の開発に成功しました。

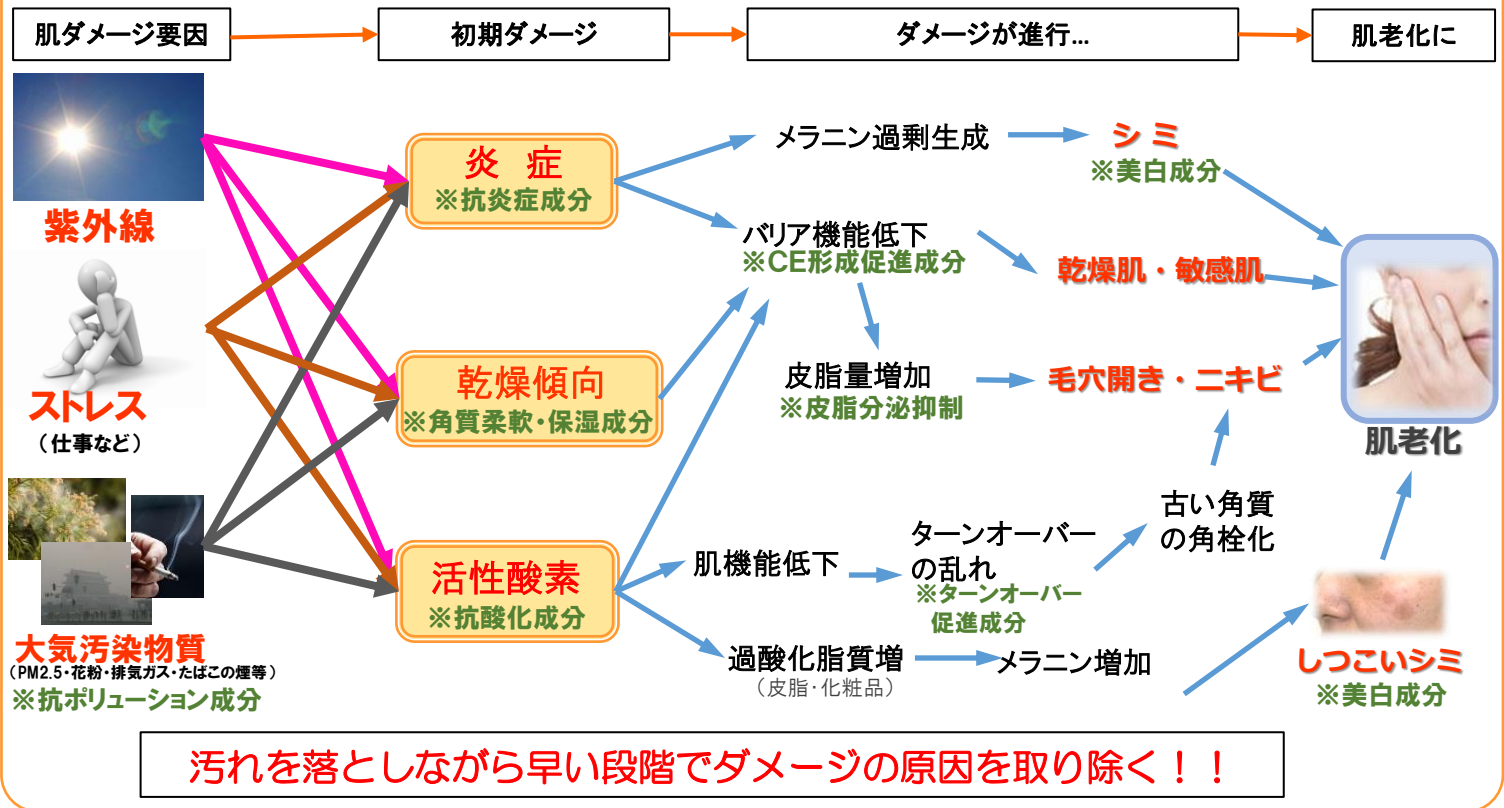
『メイク落としを癒しの時間に』 美しい色、心地よい感触、癒される香りでクレンジングタイムを楽しく。

メイクや、日中の汚れを落とすクレンジングタイムは、1日の疲れやストレスをリセットする時間でもあります。ビタミンB12とアスタキサンチンによる印象的な、美しいルビー色。プルプルと弾力を持ったジェルクリームは驚くほどスムーズに伸び、汚れやメイクを一瞬で巻き込みます。そして、オレンジとラベンダーの心を癒やす香り。五感に訴えながらメイク落としを優雅な時間に変える、そんなクレンジングなのです。



日々の正しいクレンジングで日中の肌のダメージをリセットする

※ステージごとにダメージに対抗！ケイカクテルVクレンジングジェルクリームの配合美容成分



3週間で肌水分量と毛穴に変化がありました

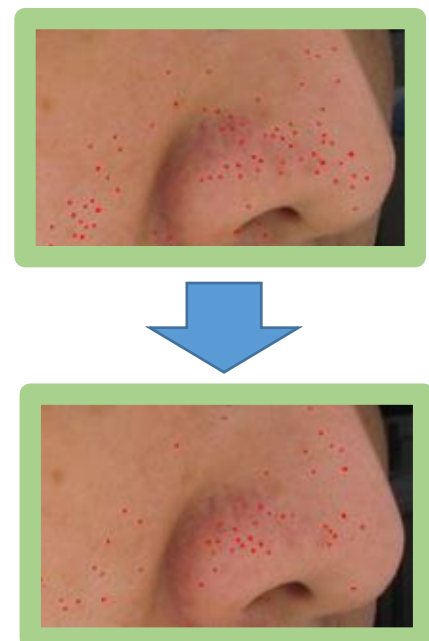
ドクターケイ調べ

バリア機能を保持しながら、角層水分量は平均で約52%アップ*1！

目立つ毛穴の数は、平均約23%減少*2！



*1モニター3名の3週間使用前後の角層水分量とTEWLの測定結果



*2 ロボスキンアナライザー (RSA-50) でモニター2名の3週間使用前後の目立つ毛穴の測定結果

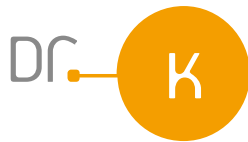
※経表皮水分損失量 (TEWL)：皮膚の中から逃げていく水分の量で、バリア機能が低下するとこの値が大きくなる(水分を逃がしやすくなる)。



ビタミンCのパイオニア、ドクター亀山が提唱する 先端の極上クレンジング

常に新しい着眼点で肌生命を科学する、皮膚科医 亀山孝一郎。肌メカニズム+ビタミンCの研究から誕生した独自のカクテルビタミンをはじめ、甘草フラボノイドを美白成分として初めて化粧品に活用するなど、一步先ゆく新発想で女性の肌悩みを解決してきました。今回のクレンジングは、“メイクを落とすだけ”の今までとは全く違う、使えば使う程スキンケア効果+肌トラブル改善が望める次世代のジェルクレンジングです。

先端の肌科学を提唱するドクターケイだからこそ、この極上クレンジングが完成しました。



「ドクターケイ」は青山ヒフ科クリニック院長亀山孝一郎が開発したクリニック美容のスキンケア。2002年6月のスタート以来、美容皮膚科学と化粧品科学が融合した先端スキンケアブランドとして、肌悩みをもつ女性たちの高い支持を獲得してきました。“ヒフは心の鏡である”という亀山医師のモットーのもと、肌を美しく整え、幸せな人生のサポートをする化粧品の開発を続けています。



皮膚科専門医
医学博士

亀山 孝一郎
青山ヒフ科クリニック院長

1980年 北里大学医学部卒業。その後、北里大学皮膚科に入局。

1986年1月～1989年5月

世界最大の研究所・米国立保健衛生研究所にてメラニンの生成について最新研究に没頭。

1994年 自由が丘クリニック皮膚科部長就任。

1998年 皮膚科専門医、医学博士号取得。北里大学皮膚科講師就任。

1999年 世界に先駆けて「ビタミンCのニキビに対する効果」と題して書いた論文発表。

この研究をきっかけに、ビタミンCとニキビ、テカリ、オイリー肌との関係を詳しく分析し、ビタミンC療法の第一人者と呼ばれるようになる。

同年、独立し、青山ヒフ科クリニックを開設。

2002年 オリジナル化粧品ブランド「ドクターケイ」を発表。

掲載時のお客様からのお問い合わせ先
株式会社ドクターケイ
〒107-0061
東京都港区北青山3-12-9 花茂ビル3F
0120-68-1217
<http://www.doctork.jp/>

本件に関するお問い合わせ先・商品貸出依頼先
ドクターケイ広報事務局(ヌーヴェル・ヴァーグ内)
担当: 鈴木・真鍋・吉田
TEL: 03-5722-1420 FAX: 03-5722-1407
MAIL: info@nv-pr.com